

第 42 期同期会生涯運営費（特別会費）について

5 万円の根拠について

費用の内訳（概算：ここ数年の実績より）

①大同総会当日までの同期会の活動費・・・約 1,000 万円

広報活動費、事務局費、北九州・関西支部総会当番費、学校の寄付、前・後夜祭費、同窓会本部への同期生全員の終身同窓会費など

②大同総会当日に関わる費用・・・約 1,200 万円

同窓会総会、懇親会など

③大同総会以後の 42 回同期会の活動費・・・約 350 万円

関東支部総会当番費（50 歳時）、福岡支部総会当番費（51 歳時）、通信費など

◎ 総費用（①+②+③）・・・約 2,550 万円（大同総会当日参加費除くと 2,200 万）

私たちが、これから数年間、嘉穂高校卒業生として先輩方から引き継ぐ「大同総会」や「各支部の総会」での当番を、責任を持って実行していくためには以上のような活動資金が必要となります。

大同総会参加者の当日会費約 350 万円をここから差し引いても、おおよそ 2,200 万円の資金が必要ということになります。この金額を同期生 438 名（物故者を除く）で割ると 52,228 円となるわけですが、現実には全員の納入は不可能と考えられ、例年、不足分を広告料や寄付金として同期の仲間で集めて補っている状況です。以上のことから、同期会の基幹的収入源である生涯運営費を例年どおり 50,000 円とさせていただきました。